

「学校評価」等をもとにした学園の対応について

保護者の皆様や学校運営協議会の皆様による「学校評価アンケート」の数値結果やご意見を受け、来年度の学園の対応を検討いたしましたので、お知らせいたします。

今後も、教育目標「ひとりだち」に向けて充実した学校教育を目指してまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【主な対応】

(1)『子どもを主語にした学びへの転換、指導観のアップデート』を図ります

9年間の系統性・発展性【縦のつながり】や教科と教科、教科と村民学の【横のつながり】を最大限に生かし、「自己選択・自己決定がある授業」「教え合いではなく学び合いのある授業」「学びを実感し、新たな学びにつなぐ授業」の創造を図ります。また、単元テストと学習カルテを生かした学習サイクルの確立を図ります。

<数値結果> 数値は11月の4段階評価の平均

▲評価項目⑥「家庭学習」**2.61**(7月↗11月)

▲評価項目⑦「授業への意欲」**2.83**(↗)

□評価項目⑬「分かりやすい授業」3.45(↗)

(2)『自分も相手も大切にする、人権尊重の心』のより一層の育成を図ります

「白川郷学園人権宣言」を核とした日常の取組を中心として、自己肯定感・有用感を高める「よさ見つけ」やレジリエンスを高める教育相談の充実に努めます。

また、誰一人取り残さない安心・安全な居場所づくり、絆づくりに努めることで噂や偏見に惑わされることなく、確かな事実に基づいて言動できる子の育成を図ります。

<数値結果>

□評価項目⑧「進んで運動」3.09(↘)

▲評価項目⑨「規則正しい生活」**2.81**(↗)

□評価項目⑩「よさの自覚・発揮」3.00(↗)

□評価項目⑪「思いやり」3.17(↗)

(3)『活動と活動をつなぎ、自主的・自治的に活動できる力』を育成します

当事者意識をもち、自分や自分たちの生活をよりよくしようと取り組むことができる活動づくりとして、児童生徒会活動やLP活動、ブロック活動や結クラス活動の充実を図ります。また、自己指導能力を高める活動づくりとして、なりたい自分に基くよさ見つけや、その道のプロから本物の「生き方」「考え方」を学ぶ心揺さぶる本物感動体験を大切にしていきます。

<数値結果>

□評価項目③「いじめ・登校」3.22(↘)

□評価項目④「あいさつ」3.13(↗)

□評価項目⑤「ルールの遵守」3.03(↗)

□評価項目⑮「教職員の対応」3.65(↘)

<ご意見>

・親もワクワクする様な学校行事が少ない気がする。自分達で企画し、それをやらせてみて達成させる達成感の体験がもっとできたら良いなあと思います。

→村民学において、白川村の困りごとに目を向け、解決策に挑み、トライ&エラーにより新たな価値を創り出す学びへとアップデートします。

・結クラスは学校側と子ども側の評価が異なるように感じています。やり方や取り組み回数など、検証を重ねて最適なあり方を検討頂くことが肝要だと感じてます。

→日常から結クラスを生かしたピアサポート体制づくりに努めるとともに、活動のねらいを明確にします。